



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

農村文化や地域産物を活かした地域づくり (都市との交流)

玉井 常貴 (たまい つねたか)
農業法人 株式会社秋津野 取締役社長



○ 登録者情報

所在地

和歌山県田辺市

略歴

H8 『ゆたかな地域づくり表彰天皇杯』（農林水産省）【秋津野塾】
H21 『知事表彰（農林水産部門）』（和歌山県）【株秋津野】
H21 『ソーシャルビジネス55選』（経済産業省）【株秋津野】
H22 『オーライ！ニッポン大賞』（農林水産省）【株秋津野】
H22 『グリーンツーリズム大賞2010』（毎日新聞社）【株秋津野】

○ 農村文化や地域産物を活かした地域づくり(都市との交流)

取組の内容

平成6年に、地域内の全組織の代表で構成された地域づくり団体「秋津野塾」の中心メンバーとして活動し、「都会では真似の出来ない香り高い文化の継承と、活力と潤いのある農村社会の形成」を目的に、住民自らが積極的に参加する地域づくりに取り組んできました。

その後、地域の活性化は地域経済が元気でなければ成し得ないということから、農産物直売所(現在は『株きてら』として法人化)の立ち上げに関わり、地域内の農産物流通と、都市と田舎の出会い交流を地域産物を通して進めてきました。

平成19年には、地域のシンボルである旧小学校の廃校舎の活用にも取り組み、地域住民が出資する『株秋津野』を立ち上げ、以降、「秋津野ガルテン」の一員として、農家レストラン、宿泊施設、体験交流施設、市民農園などの運営に携わり、都市と農村の交流や食育・地産地消に取り組むほか、全国で地域づくりに取り組む人・団体と連携しながら地域づくりや農業の振興に取り組んでいます。

実績

秋津野ガルテン

H22 年間交流人口 約60,000人

(農家レストラン・宿泊施設・体験交流施設・市民農園・オーナー樹の利用)

年間売上額 約8千万円

秋津野直売所きてら

H22 年間交流人口(直売所利用) 約60,000人

年間売上額 約1億3千万円

工夫した点や苦勞した点

組織の立ち上げや各種取組を進める上で、最も苦勞をし、そして工夫をした点は、地域内における合意形成という点です。具体的には、地域の課題を地域住民が互いに共有をし、その中で課題解決に向け何が必要なのか、さらには将来を見据えた持続性のある地域づくり(事業展開)など、幾度となく地域内で議論を重ねる中で、住民の意識改革を進め、合意形成に取り組んできました。そして、今なお地域の将来を担う人材の育成という点を心がけ、各種取組を進めています。

ひとことPR

「身の丈にあった地域づくり」が大切！！

○ 参考 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1 地域経営改革		7 まちなか再生
○	2 地場産品発掘・ブランド化		8 若者自立支援
	3 少子化対策		9 安心・安全なまちづくり
	4 企業立地促進		10 環境保全
	5 定住促進		11 その他()
○	6 観光振興・交流		

関連ホームページ

秋津野ガルテンHP	http://agarten.jp/
秋津野塾	http://akizuno.net/
秋津野直売所きてら	http://www.kiteraga.com/

連絡先

メールアドレス	info[アットマーク]agarten.jp	その他	
---------	------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る